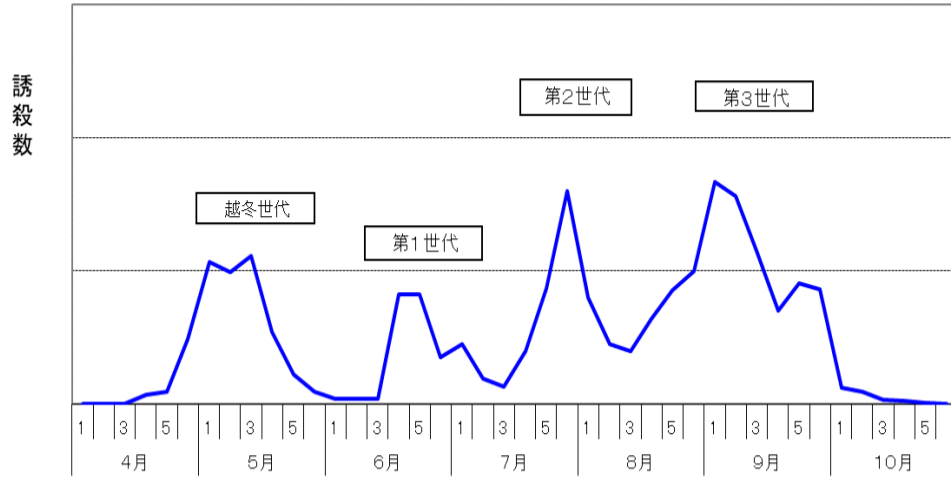


スモモヒメシクイのフェロモントラップ誘殺消長（令和6年（2024年）調査）

長野県病害虫防除所

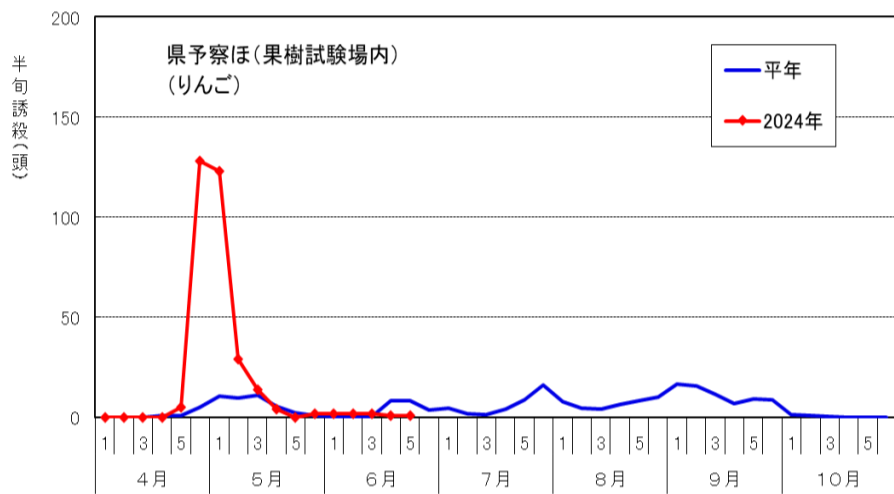
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年3～4回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月下旬～5月上旬、第1世代成虫は6月下旬～7月上旬、第2世代成虫は7月下旬～8月上旬、第3世代成虫は9月上旬に発生する。
- ・日本すももは、第1世代、第2世代の卵及びふ化幼虫の防除を行う。
防除適期はそれぞれ5月上旬～6月上旬、6月下旬～7月中旬であり、10～14日間隔で防除する。
- ・りんごは、第3世代の卵及びふ化幼虫を対象に、8月中旬頃から5～7日間隔で防除する。

○県予察ほ（須坂市 長野県果樹試験場内）



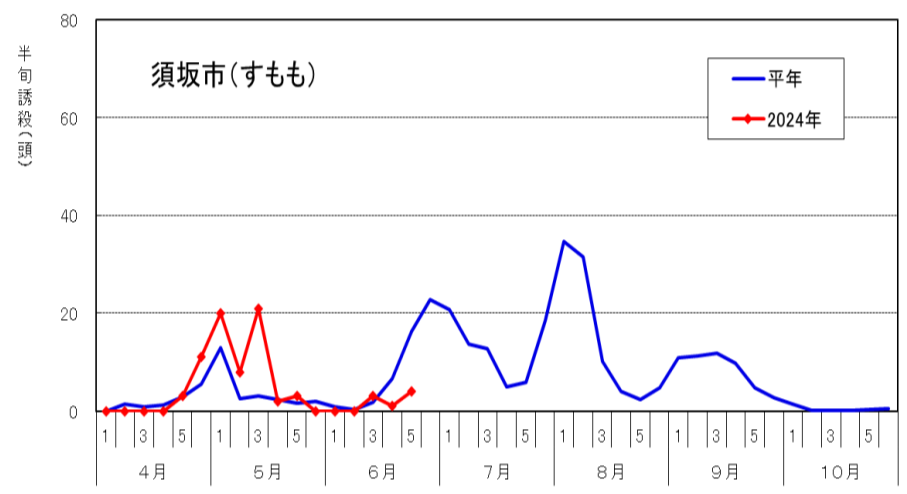
【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市 長野県果樹試験場（りんごほ場）
- ・平年は2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、4月第6半旬～5月第1半旬は平年と比べ多く、5月第3半旬以降は平年並～やや少ない。

○須坂市（病害虫防除所調査）



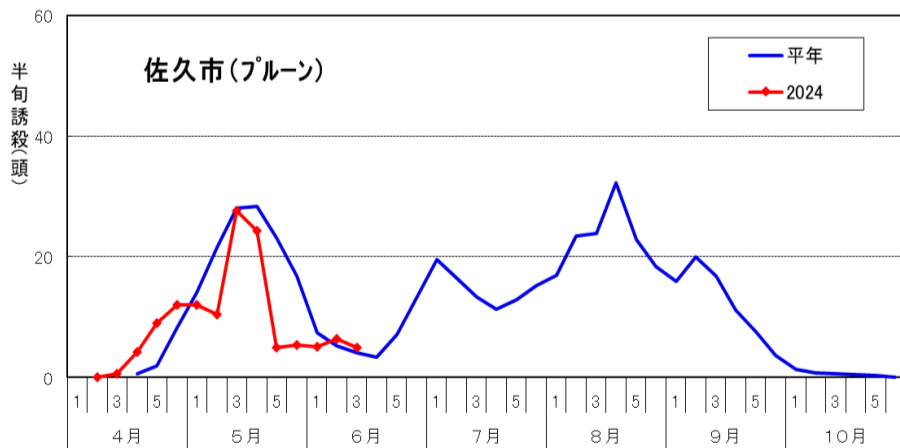
【調査地点】（標高約370m）

- ・須坂市（日本すももほ場）
- ・平年は2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、5月第3半旬は平年と比べやや多く、第4半旬以降は平年並～やや少ない。

○佐久市（※佐久農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約730m）

- ・佐久市（プルーンほ場）
- ・平年は2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、平年並～やや少ない。

○中野市（※北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約350m）

- ・中野市（日本すももほ場）
- ・2024年からほ場を変更したため、平年値なし。